

まつばらしょうがっこう へんせん 松原小学校の変遷



明治7年(1874年)11月1日 願正寺内に松原小学校の名称で設置

明治11年(1878年)8月、願正寺から柴籬神社へ校舎移転「上田小学」と変更

明治20年(1887年)3月31日堺県廃止、大阪府管轄

6月新堂村へ移転、「新堂尋常小学校」と改称

明治27年(1894年)1月、「松原尋常小学校」と改称

明治41年(1908年)現河内松原駅前付近移転 高等科併置、松原尋常高等小学校

昭和16年(1941年)松原国民学校と改称

昭和17年(1942年)松原町立松原国民学校と改称

昭和22年(1947年)松原町立小学校

昭和30年(1955年)松原市制発足 松原市立松原小学校

昭和34年(1959年)創立85周年記念式典

二宮金次郎像寄贈、台石の「志学」元大阪府知事(佐藤義詮)書



※人口増・交通の激化に伴う騒音、保護者・地域の願望・下ノ池埋立新校舎建設へ

昭和47年(1972年)新校舎4月5日移転完了 現在に至る



昭和49年(1974年)創立100周年式典挙行 記念誌「まつかぜ」作成

平成6年(1994年)創立120周年式典挙行 記念誌「まつかぜ」作成

平成26年(2014年)創立140周年記念 航空写真「マッキー」人文字作成



創立140周年を迎える松原小学校で、市のマスコット「マッキー」の形をした人文字を作り航空写真を撮りました。全校生徒が色とりどりの画用紙を持ち、マッキーの形に並びました。飛行機からの航空写真がメインとなるため、校舎側から見ると逆側に写っていますが、屋上から見ると大きなマッキーが表現され、とても素晴らしい光景でした。
 <松原市広報 撮影 2014年7月1日 午後1時40分>

まつばら ゆらい 「松原」の由来

かわちへいやなんぶ いっかく まつばら おおさかふ ちゅうおうぶ ふる のうこう しゅ
河内平野南部の一角にひらけたこの松原は、ほぼ大阪府の中央部にあたり、古くは農耕を主とし、た
いけ おお とうじ おおさか やまと なら むす こうつう にほんさいこ
め池も多くみられ、当時は、大阪と大和（奈良）を結ぶ交通のかなめでもありました。日本最古の
たけのうちかいどう ながおいどう なんぼく つう なかこうやかいどう げんざい しゅよう せいかつどうろ のこ
竹之内街道や長尾街道、そして南北に通じる中高野街道などが、現在も主要な生活道路として残って
います。道幅は狭くなっていますが、本校は松原市の中心部にあり、中高野街道の一部が通学路にも
なっています。

せいぎ にんとくてんのう だいさん おうじ はんぜいてんのう ち
5世紀ごろ、仁徳天皇の第三の皇子（反正天皇）が、この地に丹比柴籬宮（たじひしばがきのみや）を
おかれ、せいじ けいざい ぶんか ちゅうしんち ごこく ひとびと てんかたいへい
おかれ、政治・経済・文化の中心地となり、五穀がよくみのり、人々はにぎわい、天下泰平であったと
にほんしょき しる
「日本書紀」に記されています。

まつばやし かと
丹比柴籬宮（たじひしばがきのみや）は、松林に囲まれていたこともあったのでしょう、「松（まつ）
生（お）いし、丹比（たじひ）の松原」と謳われるようになり、「松原」の地名はここからきているといわれ
まつばらむら ちょうせい まつばらちよう しょうわ ねんちょうそんがっぺい ふ か ばんめ
ています。松原村から、町制がしかれ松原町となりました。昭和30年町村合併により、府下21番目の
し まつばらし ほっそく
市として松原市が発足し、

ほんこう めいしょう まつばらしりつ まつばらしょうがっこう
本校の名称も、「松原市立松原小学校」となりました。

